	<p>がんばれ高田 負けるな高田</p> <p>できる できる できる!</p>	<p>【校訓】</p> <p>自主・協力・創造</p> <p>文責 校長 高比良 尚</p>
---	--	---

◆ **令和8年度より義務教育学校としてスタートします!** ◆

新聞報道や、地域での説明会でご存知の方もいるかもしれませんが、令和8年4月から高田中学校と高田小学校が統合し、小中一貫の義務教育学校がスタートします。高田南区画整備が今年度末で終了し、小中学校の児童生徒数の増加が予想され、両校の施設を有効活用し、9年間の教育課程で教育の質の向上を目指していきます。

Q 義務教育学校とはどんな学校?

- ◆ 義務教育学校とは、2016年(平成28年)に制度化された小学校・中学校とならぶ新しい学校制度で、9年間の義務教育を1つの学校組織として一貫的に実施する学校です
- ◆ 1名の校長のもと、教職員は1~9年生までの学習を指導します。

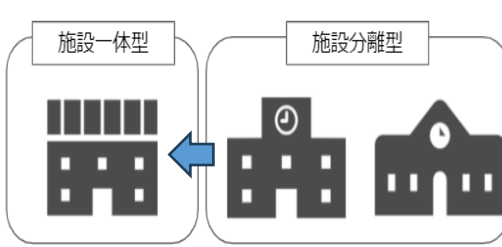
Q 小中一貫型学校と義務教育学校は違いがあるの?

- ◆ 県内にも小中一貫型学校や義務教育学校はありますが、小規模の学校で設置されており、本校区の規模の学校が義務教育学校になるのは県内では初となります。小中一貫型学校は、小学校と中学校が別組織であるのに対し、義務教育学校は1つの学校組織であることが大きな違いです。
- ◆ 9年間を見通した教育を行う点ではどちらも同じですが、1名の校長のもと、1つの教育集団が子供たちの情報を共有しながら、系統的、連続的に指導する義務教育学校のほうが一貫教育の効果が高いといわれています。



※義務教育学校については、2月21日(金)に予定している1・2年生学年PTAでも保護者の方に向け説明を行う予定です。

義務教育学校スタートに向けて

年度	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	義務教育学校学年	教育課程
学年	小中交流		義務教育学校					
小1	小1	(年長)	(年中)	(年少)			1年生	前期課程
小2	小2	小1	(年長)	(年中)	(年少)		2年生	
小3	小3	小2	小1	(年長)	(年中)	(年少)	3年生	
小4	小4	小3	小2	小1	(年長)	(年中)	4年生	
小5	小5	小4	小3	小2	小1	(年長)	5年生	中期課程
小6	小6	小5	小4	小3	小2	小1	6年生	
中1	中1	小6	小5	小4	小3	小2	7年生	後期課程
中2	中2	中1	小6	小5	小4	小3	8年生	
中3	中3	中2	中1	小6	小5	小4	9年生	



義務教育学校は施設の一体・分離を問わず設置可能です。本校は施設分離型でスタートしますが、将来は施設一体型を視野に入れています。

今年度の中1が中3になる時に義務教育学校がスタート
 令和8年度は、今年度の小3・4年生が小5・6年になる時、本校校舍に通学
 は、現高田小学校に通学
 は、現高田中学校に通学

◆ **ながよ検定実施!基礎学力を大切に!!** ◆

1/21(火)からの3日間、本年度2回目となる漢字、計算、英語の「ながよ検定」が1・2年生で実施されました。

小学校1年生の漢字18級、計算18級から始まり、今回中学校2年生では、計算・漢字・英単語3級を、中学校1年生では計算・漢字・英単語5級を受検しました。小中あわせて9年間、町をあげての取組は、生徒たちの基礎学力を支える大きな要因となっています。ながよ検定は、点数を競うテス

裏面に続きます。

トではありません。『全員合格!』を目標に、冬休みから3学期が始まって問題演習に取り組みました。今年度高田中学校では、定期テスト前とこの検定の前に、放課後自習時間を設定しています。黙々と自分のペースで机に向かう姿は、さすが中学生。学年が上がるごとに、その集中力と自習を行う内容の充実さが増してきます。この自習時間を通して学習のやり方等を身に付け、家庭学習にもつないでほしいと考えています。日頃の授業や「ながよ検定」で身に付けた学力と学習習慣は、これから先の進路選択に大きく役立ち、更には「豊かな人生」につながるはずで「この学びの習慣」が検定後も持続していくことを願っています。

すなおで元気な長与っ子を育てるために

家庭教育10か条



◆ EXPO スクールキャラバン(大阪万博事前出前講座) ◆

1月10日(金)には、大阪万博をきっかけにSDGsなどを学んでもらおうと、次年度修学旅行で研修を予定している1年生に対して、出前授業を行いました。出前授業では、大阪万博にパビリオンを出展するCPコンクリートコンソーシアム代表企業、安藤ハザマの社員の方が来校し、大阪万博のパビリオン等の説明や出展パビリオンに関する実験を行いました。

実際に温暖化対策のために開発している二酸化炭素を吸収するコンクリートには、生徒たちも興味津々。コンクリートに含まれる素材に二酸化炭素を吹きかけると色が変わり発熱する様子に、生徒たちは驚きながら最先端の技術に見入っていました。

授業後、「酸素と二酸化炭素での違う反応に驚いた。」「万博も色々な技術があって面白そうだ。」「SDGsもちゃんと達成しなきゃいけないと思った。常日頃から意識したい。」との感想が見られました。

大阪万博には、47の国がパビリオンを出展します。2030年までに達成すべき具体的な「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」、「だれ一人取り残さない」持続的な社会をめざすSDGs達成に向けた取組を加速させるためにも、様々な社会の課題とSDGsの17の目標つながりを知り、「何をしたらいいのだろう。」「自分にはどんなことができるのだろう。」「…ひとりひとり、みんながそのことを考えて、行動していくことを大切にしてほしいと思います。



◆ 第70回記念「子ども県展」2部門で学校賞「優秀賞」受賞! ◆

今年度の「子ども県展」に本校から絵画、デザイン、立体に3部門に高田中学校の生徒作品を出品しました。その結果、絵画部門で森永珠緒さん(3年)、藤山紗千さん(3年)、北岡夏帆さん(1年)の3名と、立体部門の荒木蒼生さん(2年)の計4名が特選に入賞し、のべ78名もの生徒の作品が入選しました。また、学校賞として、「絵画」と「立体」の2部門で「優秀賞」を受賞しています。

本校は、部活動として美術部がありません。今回の作品は、授業中や休業中の課題として完成させ出品しています。2部門の学校賞受賞は、多くの生徒が美術に興味を持ち、熱心に作品に取り組み、また授業の中でしっかりと指導して頂いた成果です。

学校賞2部門受賞は生徒みなさんで喜びましょう。そして個人賞を受賞したみなさん、おめでとうございます。

特選に輝いた4名の作品



※ 写真等を掲載しておりますので、取扱いには格別の御配慮をお願いいたします。